

ひろば大代

NO.438

大代まちづくり
センター

H28.1.23

謹賀新年



本年もよろしく
お願い致します。

大代まちづくりセンター長

大代高山会会長 佐藤哲朗

明けましておめでとございます。
皆様には輝かしい新春を、お健やかに
お迎えのことと心よりお慶び申し上げ
ます。

昨年 は まちづくりセンター・大代高
山会の運営にご協力頂き有難うござい
ました。

一昨年8月にオープンした民泊施設
「大江高山きずな館」は開設以来延べ
83名の宿泊と、第30回都市とふるさと
交流会記念事業で大代町出身者の子供
さんを対象にしたそば打ち体験や、介

護予防事業など約400名の利用を戴
きました。

昭和50年4月から続いた大代幼稚
園が昨年3月を以て閉園となり、その
間、園の運営に町民の皆様の絶大なご
支援を戴きました。又、平成24年から
は園を支援しようと父母の会と有志ボ
ランティアにより「ゆず胡椒」を製造・
販売し、年間2000個を売り上げる
ヒット商品となりました。

閉園後は保育事業支援の必要はな
かりましたが、特産品作りを継続しよ
うと「大代ゆずっこくらぶ」を結成し、
島根県社会福祉協議会と大田市の助成
金を得て「きずな館」の敷地内にある
土蔵を加工場に改良しました。

5月唐辛子の植付けに始まり、九月
唐辛子の収穫・加工、11月柚子収穫・
加工と作業を進め3000個の製品を
製造しました。11月15日大代町文化祭
から販売開始し売上の目途も着まし
た。収益は特産品開発や「きずな館」
の周辺整備等に活用し、大代町活性化
に取組みます。

平成28年、申年のことわざに「見ざ
る聞かざる言わざる」と有ります。こ

れは、とかく人間は自分にとって都合
の悪いことや相手の欠点を、見たり聞
いたり言ったりしがちだが、それらは
しないほうがよいという戒めですが、
大代町の現状をよく見て、町民の皆
様の意見をよく聞き、言うべきことは言
い、積極的に明るく活力ある町づくり
を進めたいと思います。

町民皆様のご協力をお願い致します。

申年に思う

大代町連合自治会長

大場清志



明けましておめでとございます。
平成28年おだやかな幕開けです。町
民の皆様にかかれましては御家族そ
ろつてのんびり正月を過ごされたと思
います。気持ちも新たに今年の目標も
決まりましたでしょうか。

旧年中は、大代町に於きましては大
きな災害も、事故も無く平穏無事な一
年であった様に思います。何もない日
常こそありがたいものです。しかし昨
今の温暖化による異常気象により大き

ら、早いもので在京48年になります。

東京での私の自己紹介では世界遺産・石見銀山からさらに奥に進んだ大代というところで育ち、そこには昔からとてもレベルの高い文化と素晴らしい地域活動を展開しておられる方々の生活の場があり、その大代に育ててもらったことをいつも自慢にしております。いつも夢に出てくるのは、小さいころ楽しかった大代小学校と大代中学校の思い出です。

インターネットのフェイスブック「大代高山会」のムービーには、私が小学校5年生の昭和35年ころの運動会などの行事や授業風景の記録映画が公開されています。何度見ても飽きません。「びっくりポン」なことに、懐かしい先生方や友人たちに混ざって、私の父英文が運動会の賞品を渡す姿とPTA会長としての祝辞を述べる姿が瞬間ですがでてきたことです。

大代石見高山会、関西石見高山会の皆様と手を繋いで、わがふるさと大代のために、何かお手伝いができることがないか微力ながら頑張ってみたいと考えています。

皆さまどうぞ宜しくお願い申し上げます。

第25回関西高山会総会は

6月12日です。

関西高山会会長 山根金造



明けましておめでとございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

第25回「記念総会」は今年から会場が変って、JR桜ノ宮駅（下車・徒歩3分）北東の「大阪リバーサイドホテル」にて、午前10時より開催します。今回は、大代町より「大江高山神楽団」の皆さんに大型バスでおいでいただき、石見神楽（頼政・えびす・おろち）を十分舞っていただく予定です。

関西に住まいしておられる皆様、今年、子供さん、お孫さんと三代そろってのご出席をお待ちしております。（和江のかまぼこ・板わかめ販売あり）私ごとですが、昭和21年（22年）生まれは今年「古希」を迎えます。8月13

日に大田市で「同窓会」を開催しようと計画しています。

これからは「元気で長生き」し、年数回はふるさと大代町に帰り、大好きな「大江高山」をゆっくり眺めて暮らしたいと思えます。（理想…）

今後共どうぞよろしくお願い致します。

新年に想う

寿会会長 日向 良



明けましておめでとございます。平成28年の幕開けである。

本年も活気ある平和な一年であれと願う。安部首相はその理想の形を「一億総活躍社会」と言う。

さて50年後も（勿論小生は生存しないが）人口「一億」を維持し、日本人が充実した社会を送る事の夢を見たいものだ。

日本が高度成長期になるときに或る高名な評論家は「日本はテレビ時代の到来で一億総白痴化」と批判した。そんなことにお構いなしに日本社会は「一億総中流」の繁栄を謳歌した。

今やそれを担う立役者には働く場所、仕事と介護などの支援も必要と思われる。これからも本当に住み良い日本になるように望む。

謹んで新春のお慶びを



申し上げます

大代婦人会会長 佐藤京子

今年のお正月は、近年には珍しい時化もなく穏やかな年明けとなりました。皆様には如何お過ごしでしたでしょうか。

今年の干支は「猿」ですが、私も「猿」年で今年還暦を迎えます。子供達が還暦のお祝いをしてあげると言いましたが、一瞬そんなに年を取っていないからと若いつもりで「そんなにしていなくてもいいよ。」と返事をして直ぐ、最近の私の体力のなさ、物覚えの悪さ、物忘れの多さを思い浮かべると、還暦のお祝いをする事で、自分自身年老いたという自覚と認識を持ち、人から誘われたら素直

に受ける気持ちも大切だし、家族全員が集まることは、新たな発見があるかもしれないと思いい、子供達にしてほしいと伝えました。

祝ってもらうには、子供達に負担をかけることになるので申し訳ない気持ちで先に立ち、私も何かしらありがとうと物にしていかなければいけないだろうなと世間の常識を考えました。

私の同級生は昨年が還暦です。大代には意外と早生まれの方が多く性格も少しどこか似ている面もあるようです。年賀の中におみくじと書いてあるものがありました。おみくじと言えれば開いてみるもの、爪で剥がそうとしていましたら、小さい字で「ここをめくつてね」と書いてあります。「えっ!!」と笑いが出ました。何と出るかと、めくってみたら『「大吉」今年が良いことがあります』と書いてありました。

楽しい年賀状だなと笑顔になりました。笑顔は健康の元。美肌の元。顔の筋肉を動かす元。楽しいことがなくても体を動かさし笑顔を作ら、一つづつを誠実におこないたいと思います。ご協力を宜しくお願い致します。

年頭の挨拶

大代消防分団長

横 明完 としまだ



明けまして、おめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、住み慣れた家で健やかに新年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。大代町では、昨年一軒の火災もなく過ぎることが出来ました。これもひとえに皆様の火災に対する認識の強さから来るものと感謝しております。しかし、全国的にみますと、痛ましい死亡を伴う火災、又それにも増して町全体を巻き込む理不尽な自然災害、今迄に経験したことのない大雨が、毎年のように、どこかで降っております。自然災害に対しては、我々人間は、実に無力であることを思い知らされます。昨年は、市の主催で地震を想定して避難訓練が大代町でありました。あれは訓練でしたが、実際に地震が起き、家が倒壊し、道路も分断されたら、あんなに楽しそうには非難して来られないでしょう。

大代は、「何にもないけど災害もないけえ大丈夫」というのは、田舎だけど都市伝説です。過去にも景色が変わる程の地震や水害が、この大代でもあったそうです。いつこの身に降り掛かるかわからない災害、少しでも被害がないよう日頃から心掛けたいものです。終りに、この大代町の無火災が続くことと、大雨や地震のないことを願いました、私の年頭の挨拶といたします。

新年の挨拶

大代駐在所 小川

峰^{たかし}



明けましておめでとうございます。暖冬とはいえ、冬の寒さは厳しく感じます。元気に過ごしておられるでしょうか。私が大代町に赴任してきて、早くも1年が経過しようとしています。皆様に良くしていただき、すっかり大代町民になっています。大代町では交通事故の発生も、犯罪の発生も少なく、平和な所だなというのが正直な感想です。

しかし、特殊詐欺の予兆電話が大代町内にも架ってきており、皆様が常に犯罪と隣り合わせで暮らしているという事を忘れないで下さい。現在はインターネットの発達等のため、常に新しい犯罪が生まれています。少しでも「違和感」を感じる事は自分で決めず、誰かに相談して下さい。

また、交通事故についても、交通量が少ないから大丈夫、誰も歩いていないだろうからスピードを出しても大丈夫等の考えは捨てて下さい。誰もが交通事故の加害者にも被害者にもなる可能性がありますという事を忘れないで下さい。そして事故時の体へのダメージが大きく違いますので、車に乗る際には必ずシートベルトを装着して下さい。

長々と書かせていただきましたが、今年もよろしく申し上げます。

農地(水田・畑)のもつ

多面的機能に光を

農業委員 横手新治郎



明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

年頭から暖冬が続き先々不安な気象状況です。昨年7月から9月にかけて、日本列島は、台風や記録的な豪雨等による災害に度々見舞われましたが、大代町では大きな被害もなく幸いでした。今年も申年ですが、農家が一番困っているのは猿・イノシシなどの鳥獣による農作物への被害ではないでしょうか。「猿の尻笑」や「猿知恵」などマインスイメージが多くありますから、注意が必要な年かもしれません。

昨年大筋合意されたTPP(環太平洋経済連携協定)についての国会論議とこれに対処する為の農業関連施策の方向付が国会で論議されますので注視することが必要ではないでしょうか。

政府が言う「攻めの農業」は、国内農地の8割を担い手に委ねると言う構想で、担い手とは大規模農家と集落営農を営む法人に限定されることです。市場原理とコスト競争に生き残れる経営者だけでなく、これまで日本の食べ物を守ってきた7割の「家族農業」は、「新時代」の外に追いやられようとしています。安全性、質、味、昔ながらの製法などの価値に光をあてる政

策が求められています。欧州では農業改革が始まり、環境へ配慮した政策に力を入れ始めていますと聞きます。特に、中山間地域が生き残るためには、見落とされている農地の価値に光を当てる政策が必要だと思えます。

最後に明るい話題を一つ紹介します。「農林水産省が発表した2014年の新規就農者は5万7650人。前年より6840人増えました。なかでも49歳以下の若手の就農者は2万1860人で2007年以降では最も多い」、島根県でも半農半X（兼業農業）を始めた方が40人もあった。つまり、田園回帰が始まっているということです。

しかし、今はまだ「過渡期」です。地域をどう守るのか、どんな地域にしたいのか。国や行政ではなく、住民自身が考えを積み上げていくことに成功の鍵があるようです。皆さまのご健勝とますますのご発展をお祈り申し上げます。



◆ 抜粋シリーズ① ◆

* 46年前の「ひろば大代」第一号より

ふれあい

学校の行き帰りに「お早うございます」「帰りました」道で出会う子らが明るくあいさつをして行く、気持がよい。反射的にこちらも、あいさつを返す。「帰りました」生徒があいさつをする。「・・・」おとなは、だまつている。かえりみもしない。

こんなケースが、よく見られる。この人は家庭であいさつをしていないらしい。若い者や子供には要求するが自分はいらないタイプの人と思われる。「町をきれいに」運動がとえられている。親が暗くなつてから、ごみやわれものを、おいこで捨てていけない所へ捨てに行く。人は見ていないけど、家族が見ている。子供が見ている。

家庭教育は子供の勉強する時間の中で一番長い科目である。そこには教科書はないが実習がある。生活そのものである。学校で教えない大切な科目を教えるのが家庭である。生活の中での

親子のふれあい、話し合いによる心のふれあい。親の生活を子らは見守っている。親を見習い、自分の人格として積み上げていく人間づくりをしてゆくのである。両親の生活態度が明るかつたら、明るい性格の人間が出来上がる。親の生活こそ大切な子供の教科書なのである。わが子を責める前に、親自身が自分の生活を反省し、心の中で「ごめんね」とあやまる程のけんきよさと、自責の念を持つべきではなからうか。

2月行事予定



* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *

▼ 10日（水）出張申告相談
受付 午前9時～午後2時
大代まちづくりセンターにて

▼ 23日（火）連合自治会

◎ 大代地区社協より

植松 窪田明徳様から
香典返しにかえ御厚志を頂き、厚く
お礼申し上げます。